

平成30年度 第1回学校評議員会 記録

平成30年6月25日(月)

15:20~16:50

場所:盛岡二高 応接室

進行:副校長 記録:総務課

○出席者 学校評議員 5名

学校職員 9名

○日程 14:30 受付 14:45 授業参観 15:20 評議員会(～16:50)

(1) 開会のことば

【進行:副校長】

15:20～

(2) 校長挨拶 【校長】

15:21～

本校の教育活動に御支援御協力を頂き感謝申し上げます。また、学校評議員をお引き受けいただきましたことに感謝いたします。本日は本年度の本校の学校経営計画や重点目標等について、皆様から忌憚のない御意見を賜り、それを今後の学校運営に生かして参りたいと思っております。本校は昨年、創立120周年の記念式典を挙げてその歴史と伝統、そして存在感を示すことができましたが、県内における高校生の減少は急激に進んでいる。県教委の試算では向こう7、8年の間に盛岡地区の高校で14学級の減少が見込まれる。本校も、将来にわたり魅力ある学校であり続ける努力をしなければならぬ。そういう視点も踏まえながら、それぞれのお立場から御意見をいただければと思っております。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

*委嘱状交付

*自己紹介(学校職員・学校評議員)

(3) 平成30年度学校経営計画及び重点目標 (質疑含む)

15:32～

ア 学校経営計画(資料:平成30年度盛岡第二高等学校経営計画) 【校長】

現状把握及び将来展望では、一番の懸念は少子化の影響です。本校も今の3年生が入学時に定員割れをしており危機感を持っております。学級が減ると職員定数減、部活動維持、私費会計の収入減と様々な問題が起こるので、魅力ある学校づくりが一番の課題と思っております。次に今後の取組方針ですが、昨年度と同様に5つの柱立てです。学力向上・進路希望実現、部活動・特別活動等の充実、心身の健康・豊かな人間性の育成、開かれた学校づくりの推進、組織力の向上とコンプライアンスです。さらに岩手の復興教育、防災教育の推進を特出しにして挙げた。具体的な取組についてはこの後、各課の重点目標等の説明があります。

また、今年度学校として大事にしていきたいことは次の三点です。一つ目は、生徒に3年間の学習と部活動の両立を基本とした充実した学校生活を送らせる。二つ目は、そういう生活の中で生徒達に生きる力と主体性を身に付けさせる。三つ目として生徒たちがそれぞれの将来に夢を持って、その実現のために進路目標を達成する。そのための前提として、心身の健康、安全安心な学校、職員のコンプライアンス等があると思います。

さらに、女子校としての強みとそれをどう教育活動の中に生かしていけるのか。逆に女子校としての弱みと、それをどうカバーしていけるのか。全教職員で知恵を出し合い、組織として生徒を指導、問題解決にあたっていく。その二高の良さ、魅力というのを地域やあるいは中学生に発信する機会を増やしてまいりたい。また、いくつか数

値目標を示してありますが、教職員が目標を目に見える形で共有する改善の視点として、学校経営にPDCAサイクルを生かしていくためのチェックポイントと考えている。

～15:36

イ 各課の重点目標

(総務課)【総務主任】

- 1 庶務・行事等の諸活動を円滑にする。
 - ・昨年120周年記念事業を無事終えることができた。
 - ・入学式、始業式・新任式も滞りなく行われた。
 - ・皆勤賞、精勤賞で校章入りの袱紗を贈呈している。
他校にはない、二高のひとつの特色となっている。
- 2 PTA(白梅振興会)活動の活性化をはかる
 - ・PTA活動は非常に活発に行われている。
近年、全国高P連大会、東北高P連大会が岩手開催のため非常に協力的で活発である。
 - ・PTA研修旅行、今年は青森。
- 3 130周年に向け、資料を整備する。
 - ・各分掌と協力、資料の収集管理に努める。
 - ・同窓会名簿が整った。
- 4 教職員の良好な環境作りに努める。
 - ・教職員に関する百分会の行事、会計の円滑な執行。
- 5 同窓会との連携促進に努める。
 - ・今年大きくメンバー替わりをした。
 - ・同窓会が発信する機会の援助。

～15:41

(教務課)【教務副主任】

- 1 授業の集中力を高める。
 - ・正味55分の授業の徹底。
授業5分前、2分前の2回予鈴を鳴らす。
- 2 家庭学習の習慣化を図る。
 - ・目標家庭学習時間の設定。
平日 2時間、休日 4時間
 - ・週末課題の吟味と精選
- 3 主体的に学習する態度を育成する。
 - ・校内での自学自習を推奨する。
講義室、視聴覚室を開放。
職員室前の整備。

～15:44

(生徒指導課)【生徒指導主事】

- 1 生徒規律の確立
 - ・ 基本的生活習慣の確立、挨拶の励行、整容指導
例年大きな問題はない。
 - ・ 問題行動の未然防止
近年いじめ、ネットへの書き込みが問題となってきた。
安全教室、講演会で指導。
- 2 生徒会活動
 - ・ 部活動
活発に活動しているが、運動部の生徒が少ない。
 - ・ 生徒会活動
体育祭、合唱コンクール、文化祭と一生懸命に取り組む。
 - ・ 応援活動
1年生を考慮した応援歌練習、欠席者の減少

~15:48

(進路指導課)【進路指導副主事】

- 1 PTA進路学習会の充実と参加率の向上
 - ・ 3学年の参加率 52.5%、対策を検討する。
- 2 キャリア教育の充実
 - ・ ジョブカフェとの連携事業を開始する。
明日、1年生を対象に岩手で働く若い社員の講演会
- 3 推薦AO入試に向けた人材発掘と育成
 - ・ 国公立大学出願 60名、合格者 30名目標
昨年度国公立大学出願 50名、合格者 24名
全職員で指導
- 4 センター試験対策と2次試験対策の充実
 - ・ 国公立大学一般入試合格者 15名以上目標
昨年度国公立大学一般入試合格者 9名
 - ・ 岩手大学に、一般入試で合格できる学力の養成
- 5 課外(好文の日)の充実
 - ・ 今年は3年生のみ実施、1, 2年生は自学自習の機会を増やした。

~15:51

(保健厚生課)【保健主事】

- 1 健康管理及び保健指導の徹底
 - ・ 定期健康診断は概ね終了。
 - ・ インフルエンザによる学級閉鎖、学年閉鎖、学校閉鎖があった。
- 2 保健衛生及び安全管理指導の徹底
 - ・ 保健教室を各学年、年2回実施

- ・職員の救急救命講習会の実施
 - ・清掃活動は良好
- 3 保健組織活動の充実
- ・治療勧告の徹底

～15:54

(4) 懇談

【評議員】

- ・良く資料がわかりやすくまとめられており、高い意識を持って仕事に励んでいる姿が伝わってきます。
- ・水を漏らさぬ学校経営というのはこういうものかと感じました。
- ・特に感心した点は学校計画の左下の数値目標です。具体的な数値目標は職員が何をどれくらい頑張ればいいのかわかる。特に自分に良いところがあると思っている割合、生徒の自己効力感に係る項目だと思う。自己肯定感の高い生徒が学力が高いというデータもあります。
- ・教務課の重点目標の“わかりやすい授業から身に付く授業を推進する”これはどういう意味なのか教えていただければと思います。

【教務副主任】

- ・身に付くという言葉と違う言葉で言うともっと得点力をつけること。入試問題や大学入試テストで点数がちゃんと採れること。身に付くというのは具体的に他の受験生と闘える得点力をつけるということです。

【評議員】

- ・わかりやすい授業かつ身に付く授業を推進することになりますね。

【評議員】

- ・総務課の「学校へ行こう週間」でどうも参加者が少ない。平日お仕事を持っているので、「行こう週間」にはなかなか参加しづらい。「学校へ行こう週間」に学年のPTAで薬物防止講演会やドコモの講師を呼んでSNSの使い方について一緒に話を聞くこともいいと思います。また今日はずっと授業を見て歩いた中で、いろんな授業をなさっているなと感じた。たとえば美術や音楽、書道で、参会者のための30分程度のミニ講義、参加型の授業もいいと思います。

【評議員】

- ・「学校へ行こう週間」を町内会報等に入れてはどうか。

【評議員】

- ・町内会の各班を通じて回覧をしています。回覧板を見て学校へ行く人は極めて少ないと思います。

【評議員】

- ・白梅ホールも立派でした。それに比べると教室は少し狭いかなと。余裕のあるホール、そういうところから学生さんたちの気持ちの成長を促すにはとても良い環境かなと思いました。
- ・細かく御説明をいただいて感じたのは校長先生をはじめ皆様が本当に二高生らしい、二高生としての良い生徒を卒業させ、育てようとする気持ちがよくわかりました。
- ・生徒たちは自分で感じたほうが実行します。目的を出来るだけ早く決める。みつけさせる。その役目も先生方にはあると思いました。目的がはっきりすればそのために何をしなければならないか、きっと頑張ると思います。
- ・入学式でも感じたんですけども、御案内してくださったり受付で応接してくださったり、そういう生徒さんたちにとってとても素敵でした。それが本当に自然体だと思います。自然に出来るっていうのはやっぱりこの学校の伝統とか121年目です。明治30年からの伝統がそうさせているのかもしれない。それプラス先生方の御努力

かなというふうに感じました。

【評議員】

- ・生徒達の態度も非常に良い。これは相当しっかり指導していると感じました。
- ・それから先程の伝統ということ、あるいはそれを受けての生徒の自覚というものがそろっていなければこんな雰囲気というかあれは身に付かない。すごい学校だと感心しました。
- ・毎日何名かの生徒さんの登下校を見ているのですが、特に問題になるようなところはありません。
- ・少子化の問題は学校の内部、生徒の指導だけじゃなくて、それを飛び越えて飛び出して、この社会でより輝いていく、活躍出来るような生徒、卒業生になるにはどうしたらいいかということまで考えなければならない。

【評議員】

- ・「学校へ行こう週間」で何か講演会を開催してもいい。書道等様々な活動や体験をするのもいいと思います。
- ・中学校の子どもを親御さんであれば行ってみたいと思う。それとあと行きやすくなるとうやはり文化祭の時だと地域の方々も行きやすいと思います。
- ・学校は地域にどういうことを求めておられるのか。たとえば災害発生時等には拠点になるか。

【副校長】

避難所は城南小学校となります。

【評議員】

- ・箏曲部や素晴らしい成績を出している部活動を見せていただくというのもすごく良い。
- ・ホームページを見ましたが進路状況が今年のはまだ載っていない。遅いと感じました。
- ・私も前に専門学校の教員をしておりました。二高生はとっても素直で品がいい、一生懸命頑張り屋さんが多くて、何を任せてもやってくれるという安心感がある生徒さんが多かった。
- ・目的が早く決まればそれに向かって努力が出来る。自分は早く決めたからこっちに来たという話をしておりました。どんな仕事に就きたいのか、どんな仕事があるのか、情報が少ないと思います。
- ・外で見かける二高生は自分が卒業生だからというわけではないがとっても感じの良い生徒さんが多く私はとっても嬉しいと思っています。

【評議員】

- ・「学校へ行こう週間」平日ではなく金曜日土曜日開催。体験授業が出来るようなのがあってもいい。
- ・二高の強みははじめがない。生徒が自主性を持っていろんなことに取り組む。チームで何かをする。みんなで協力する。そこを強みにして逆に弱みだけ強みに変えていくともっと二高の良さが伝わります。
- ・部活動で費用がすごくかかる部活とそうでない部活の差がやっぱり激しい。均すことは出来ないのか。

【副校長】

ありがとうございました。貴重な御意見をいっぱい頂きました。女子校だという良い点も悪い点も含めて改善をしながら多くの生徒を集め、校内を活性化出来ればと思っています。

【評議員】

- ・女子高にこだわりますか。

【副校長】

男子も入ったらいいかなということじゃなくて。

【評議員】

- ・同窓生、同級生のつながりが何十年もつながっている。高校の3年間の絆が今もつながっているこの学校の誇らしいところです。
- ・女子高だからというのが先にくるっていいことはない。社会に出ると女子も男子も同じく頑張っていかなければ

ればならない。

【評議員】

・二高生は、高校生活をエンジョイしていますか。

【評議員】

・楽しいっています。娘たちは、心から楽しんでいました。

【評議員】

・やはりこの3年間エンジョイして卒業していけば、いつまでもその絆を保って楽しくやっていける。
・きめ細かい、型にはめない方がいいこともある。今日も見学させていただいて恵まれ過ぎている。野生味も活力もあまり育たないだろうと思います。

【評議員】

・他の学校もかなりいろいろな設備も整っています。今はこういう時代なのかなと思います。
・卒業生として女子高って言い方は、どうもあまり好きではありません。
・二高はもう女子高でこれから先もきっと男子は入って来ないと思います。二高の良さを伸ばしていただければ、しなやかに力強く生きていってくれる生徒さんが醸成されていってくれればいいなというふうに感じています。

【評議員】

・私ひとつだけ最近聞いた話でとっても良い話がありました。今年秋田公立美術大に入った生徒さんを持っていらっしゃるお母さんが二高に入れて本当に良かったと話をしてくれました。希望どおりのところに行けてこんなに嬉しいことはない。

【評議員】

・盛岡工業では、土曜日に授業参観とPTA総会を開催して、PTA総会の後に進路学習会を開催、最後子どもと一緒に帰れるようにしたら参加率がすごく上がった。

【評議員】

・岩大は難しいのですか。

【副校長】

今ですと結構入れなくなって東北大の次が岩大、学部にはよりますが難しくなってきました。

【進路指導副主事】

・入学時点からもう一般入試よりも推薦で入りたい生徒が多く、勉強はもちろんそれ以外のいろんな実績を積んで部活で頑張る、スピーチコンテストに出るなどで頑張るようになってきていると感じます。

【評議員】

・私たちの時は、推薦は一握り、一般入試しかなかった。

【進路指導副主事】

今、いろんな入り方があります。

【山田副校長】

後はよろしいでしょうか。では時間にはなっていましたので、もう少しいろいろお聞きしたいとは思いますがこの辺で締めさせていただければと思います。

～16 : 48

【菅原校長】

今日は非常に示唆の富む貴重なお話をたくさんいただきましてありがとうございました。もはや世に放して勝手に育つという時代ではなくなって、それこそ少子化で子どもさんがお一人とか二人とかっていう家庭が多いです

ので、そのお一人の子どもさんを出来るだけ良い環境で学ばせてやりたいというのはやっぱり親心かなというふうに思います。そういう意味で小学校も中学校も非常にきめ細やかになってきて、高校でもやっぱりそれを求めてくる保護者も多くなってきました。小中学校ではこういうふうにしてくれたんだけどもというような要望があるというのも事実でございます。ただ私が考えているのはやっぱりなんでも手をかけて自分の頭で考えられない子どもには絶対出来ないなど。これから社会に出ていく段階で自分の意見をしっかり持って自分の頭で考えて自分の責任で行動出来るそういう生徒を育てていきたいというふうに思っていますので、今日の貴重な意見を参考にしてまた学校運営を進めてまいりますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

～16:51

【副校長】

お忙しい中、お集まりいただきありがとうございました。

以上をもちまして、平成30年度第1回学校評議員会を終了いたします。

16:52 終了